

50周年記念式典 ありがとうございました

高野忠房村長様をはじめ麻績小学校をお支えくださっている地域の皆様、そして歴代校長先生方を含む70余名に及ぶお客様にご臨席いただき、記念式典が厳粛な雰囲気の中、無事挙行されました。高野村長様、第十代校長黒岩道別先生にはお祝いのお言葉を頂戴しました。また保護者の方にもご参列いただきました。更に、「(株)ワカ製作所様」「(株)藤原印刷様」「麻績小学校PTA様」より過分なるお祝いをいただきました。紙面をお借りして、あらためまして御礼申し上げます。ありがとうございました。



黒岩 道別先生ご祝辞

第二部の「児童発表」では、まず金管バンド演奏がありました。活動まとめの演奏でもあり、今年度最高の演奏でした。また、あわせて6年生にとっては最終演奏の会で機会でもありました。6年生「テルーの唄」の演奏を聴いて、やはり6年生の存在の大きさを感ずると同時に、こんなに力のあるメンバーがこれで金管バンド活動から巣立って

ってしまうことに



6年生最終演奏

大きな寂しさも感じました。

続いて「旧麻績小学校校歌」を全校で歌いました。式典の間際まで「旧校歌をぜひ聴きたいので参加してよろしいですか」という地域の方々からのお声をいただき、座席数も増やさせていただきました。麻績小学校に寄せる地域の皆様の想いをあらためて感じさせていただきました。

「ふるさとの四季」は、音楽会の発表以来、更に歌声の高まりを感じました。それぞれの学年の担う歌声は歌い込まれて、美しさや力強さが一層際立

っていました。子どもたちにとって、「心に残る」「体に残る」母校50周年のお祝いの式となったことを、心からありがたく思います。



心をひとつに「ふるさとの四季」

既に村内全戸配布されております「五十周年記念誌」や「記念クリアファイル」の刊行・制作はもとより、式典の企画運営についても麻績村及び麻績村教育委員会の皆様に多大なるご支援を賜り、お陰様をもちましてこの大切な節目としての周年記

念行事を終えることができました。全ての皆様に御礼申し上げます。ありがとうございました。

『旬ちゃんと地産地消について学ぼう!』

11日(月)、学校給食連携事業として県農政部・全農長野の皆様方、そして地産地消推進キャラクター『旬ちゃん』が来校して、地産地消や「食」にかかわる出前講座を催してくださいました。子どもたちにとっては、「きのこもぎとり体験」が心に残ったようです。JA松本ハイランド(保護者でもられる)三浦 充さんより、きのこのお話をいただき、続いて端正こめて栽培されたえのきだけ



きのこ栽培にかける想い



もぎとり体験

けのもぎとり体験をさせていただきました。普段見慣れたスーパーに並ぶ品物とはまったく違う見事なえのきだけで、そこからも三浦さんの仕事にかける意気込みが感じ取れました。子どもたちが持ち帰ったおみやげ、食卓をにぎわせてくれるとともに、地元産のよさや身近な方のお仕事ぶりを感じることができたことと

思います。三浦さん、貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございました。

「地産地消」のありがたさ、「食」の重要性について実感をともなって感じられる機会をいただきました。

